

口小だより

第 23 号
小 津 長
口 之 校

一か月が過ぎて

暦は五月へと移り変わり、児童の衣服も長袖から半袖へと衣替えがなされ、とても涼しそうです。

本校の児童は、コロナの影響を感じさせないほど、すこぶる元気です。四月は、欠席ゼロの日が、十八日中十二日（出席停止を除く）でした。

個別の課題や不安は、当然、それぞれあるでしょうが、新しい学級担任のもと、新しい学校生活への適応を物語る数字だと捉えています。

特に、順調だと思いが一年生です。

二十三名の児童が、はや集団としてまとまりつつあり、松本先生のほんわかとした中にも凜（りん）とした指導、経験豊富な相良先生の温かいサポートの中で、ほぐし、生まれ、成長しています。

そして、それを支えてくれているのが六年生です。

一年生へのやさしさや思いやりは、頭が下がるほどで、改めて口之津小学校の児童のよさを実感しています。

コロナ対策

ゴールデンウィーク前後から、急激に、コロナ感染が広がっています。万が一にも学校から感染者を出さないように最善を尽くしますが、万が一のことを想定しておくことも必要です。

感染者が発生した場合

学校の児童及び教職員に、感染者が発生した場合、校長の管理責任を超え、権限は行政主導になります。

想定されるのは、まず、濃厚接触者のピックアップ。次にPCR検査等の実施。その結果が明らかになるまでは、学校は、臨時休業（休校もしくは学級閉鎖）となります。

社会科見学（四年生）の中止

六月十日に、四年生の社会科見学を予定していましたが、

しかし、コロナ感染は、長崎市がひどく、主たる見学地である原爆資料館の閉館が、五月三十一日まで延長されました。

併せて、現在、長崎市への教職員による校外学習の引率が禁止されており、社会科見学を実施できる状況にありません。

このような理由から、残念ですが、社会科見学は中止することになりました。

運動会の実施

五月二十三日、運動会は、今のところ、実施する予定です。但し、コロナの状況を鑑み、次の感染症対策への御協力をお願いします。

【感染症対策】

・次のコロナ対策を遵守して参観してください。

- ①参観前の健康チェック
- ②身体的距離の確保
- ③マスクの着用

・参観者用のテントは設置しませんので、体調に応じて参観時間等を考慮してください。

・帽子、日傘、いす、シートの使用を奨励します。

・県外並びに長崎市の方の参観は控えてください。

学校での生活の仕方

学校での生活の仕方においては、コロナ対策が、ほぼ定着しています。

【健康観察】

・発熱等の風邪症状がある場合は、本年度も引き続き、「出席停止扱い」です。

・特に、三十七℃以上の発熱の場合は、速やかに早退させます。

【換 気】

・通常学級には、空気清浄機を常時、設置しています。
・今後、暑くなると、扇風機による循環も行います。

・二十六℃以上になると、窓は開けたまま、エアコンを入れます。

【消 毒】

・全職員で分担して行っています。
・多くの児童が触れる教室やトイレ、体育館のドアの取っ手や階段の手すり、スクールのバスのシートの取っ手は、毎日、行っています。

【身体的距離の確保】

・教室では、前後左右、机一個分の距離を確保します。

・運動会の時は、テント内では、前後左右、いす一個分、競技中は、極力、前後左右、一メートルの距離を確保します。

【学校安心メール・その他】

・一年生の保護者を含め、全家庭に登録していたいただき、昨日、テストメールを送信しました。今後は、緊急連絡がある時は、本メールを活用します。

・その他、マスク着用、手洗い、社会体育との連携についても推進しています。

※運動会の運営にあたっては、PTA

体育委員会、本部役員会、おやじの会のみなさんに御協力いただきます。受付及び駐車場誘導をお願いいたします。

行事予定

※週末から雨が続き、運動会の練習に支障を来しそうです。来週火曜日に予定している予行練習の態度決定は、前日月曜日の朝に行います。

※六月二十一日から、教育週間が始まります。本年度は、左に記載の授業参観・学級部会のみ学校開放する予定です。

十八日(火) 運動会予行練習

二三日(日) 運動会

二四日(月) 振替休日

二七日(木) 全国学力調査

(六年)

六月二一日(月) 県学力調査(五年)

授業参観・学級部会

二年・五年

たけのこ・ひまわり

二年(火) 三年・四年

ひまわり・たんぼぼ

すまいる

二四日(木) 一年・六年

PTA本部役員会

二四日(木) PTA評議員会

十二日(月) 学期末短縮授業

十九日(月) 地区児童会

二十日(火) 一学期終業式

校長室から

苦渋の決断

校長 菅 秀 康

六月十日に予定していた四年生の社会科見学を中止した。

原爆資料館が、五月いっぱい閉館。併せて、現在、我々教職員の長崎出張が禁止されているからだ。

予定日まで、あと一か月を切り、校長としては、苦渋の決断である。

校長は、バスの中で、次のようなクイズを出そうと考えていた。

①南島原市の八町の名称

②南島原市と雲仙市に連なるロック

シエルターの数

③雲仙市の七町の名称

④パイパス及び矢上大橋がたなぐ場所

こんなクイズも含め、何か代わりの学習ができないか、思索している。